

# 震災見舞金を道に贈呈

## 本道と東北の設備設計事務所協会

北海道と東北6県の各設備設計事務所協会は22日、北海道胆振東部地震の震災見舞金として68万円を道に贈呈した。道設備設計事務所協会の種市由夫会長らが道庁本庁舎を訪れ、道建設部の平向邦夫建築企画監に目録を手渡した。

胆振東部地震を受け、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島各県の設備設計事務所協会が計58万円、東北6県を含めた善意を届けた



の寄付を道設備設計協会に申し出た。厚真、安平

むかわ町などで役立ててもらおうと、道設備設計協会の分と合わせ、震災見舞金として贈呈を決定した。

種市会長は地震とブラックアウト(大規模停電)について「災害に備える必要性を強く認識させる良い経験だった」と回顧し、「行政との協力関係を構築し、災害に対応できる体制づくりを進めていきたい」と意欲を示した。

平向建築企画監は、「停電や断水を受け、設備関係がライフラインとして重要と痛感した」とし、東北6県を含めた寄付に謝意を表した。